

会 議 録

会 議 名	令和４年度第２回野田市都市計画審議会
議題及び議題 毎の公開又は 非公開の別	議案第１号 野田市都市計画生産緑地地区の変更について（付議） 報告第１号 野田市都市計画マスタープランの素案について（報告） 報告第２号 野田市用途地域等の指定基準の策定について（報告）
日 時	令和４年１０月２０日（木） 午前１０時から午前１１時３５分まで
場 所	野田市役所高層棟８階大会議室
出席委員氏名	岩岡 竜夫、遠藤 博一、小俣 悦子、古谷 文夫、河井 哲弥、 川崎 貴志、桜田 康則、中村 裕介、濱田 勇次、古矢 千晴、 守安 邦弘、長島 博之、菊地 穂澄、櫻井 隆
欠席委員氏名	寺部 慎太郎、長 勝則
事 務 局 等	鈴木 有（市長）、今村 繁（副市長）、小田川 豊（建設局長）、 牛島 修二（市政推進室長）、生嶋 浩幸（企画財政部長）、 大久保 貞則（総務部長）、宮澤 一弥（市民生活部長）、宇田川 克巳（自然経済推進部長）、柏倉 一浩（環境部長）、坂齊 和実 （土木部長）、浅野 開作（都市部長）、渡邊 一雄（都市部参事監）、 小林 智彦（福祉部長）、須田 光浩（健康子ども部長）、山下 敏也（教育次長（兼）生涯学習部長）、土屋 孝之（学校教育部長）、 染谷 隆徳（農業委員会事務局長（兼）自然経済推進部参事）、 菅野 透（消防長）、赤石 俊介（水道部次長（兼）業務課長）、 荒井 幸則（課税課長）、櫻田 博聡（課税課主査）、金子 正道 （都市計画課長）、服部 薫（都市計画課長補佐）、塚越 貴浩 （都市計画課副主幹（兼）計画係長）、中原 舜（都市計画課主事）、 由井 健人（都市計画課主事）
傍 聴 者	２名

議 事	議事の概要は次のとおりである。 会長（岩岡） 10月20日午前10時開会を宣言した。会議は原則公開としており、本会議の傍聴希望者が2名おり傍聴を許可する旨を報告した。 市長に挨拶を求めた。 市長（鈴木） 出席に対するお礼を述べた。今回の審議会では、前回報告をした生産緑地地区の解除に関する付議案件の審議をお願いしたい旨述べた。また、都市計画マスタープラン及び用途地域等の指定基準の策定について報告案件があることを述べた。 会長（岩岡） 議案1号野田都市計画生産緑地地区の変更について、事務局に説明を求めた。 都市計画課長 議案1号野田都市計画生産緑地地区の変更について、説明した。 会長（岩岡） 議案1号について質疑に入り、発言を求めた。 <質疑の声無し> 会長（岩岡） 質問がないことを確認の上質疑を終了し、討論に入り意見を求めた。 <意見無しの声有り> 会長（岩岡） 意見がないことを確認の上討論を終了し、採決に入り異議がないか尋ねた。 <多数の異議無しの声有り> 会長（岩岡） 異議がないので原案のとおり決定する旨を述べ、本日の付議案件1件の採決が終了したので、答申書を作成するため、暫時休憩する旨述べた。 <休憩> 会長（岩岡） 審議を再開し、議案第1号の1件について原案のとおり可決し、答申する旨述べた。
-----	--

	<答申書を手交> 市長（鈴木） 慎重に審議していただき、答申を頂いた旨述べ、次の手続に進みたい旨述べた。 会長（岩岡） 報告第1号野田市都市計画マスタープランの素案について、事務局に説明を求めた。 都市計画課長 報告第1号野田市都市計画マスタープランの素案について、説明した。 会長（岩岡） 報告第1号について質疑に入り、発言を求めた。 委員（川崎） 総合計画の見直しや社会経済情勢の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行いますという文言があるが、記載した経緯について、質問した。 都市計画課長 総合計画及び区域マスタープランに基づいて都市計画マスタープランを作ることが法律に定められている。都市計画マスタープランは、スタートを令和5年度としており、総合計画は今年度中に作成する手続を進めており、区域マスタープランは令和7年度に見直される。今後、総合計画と区域マスタープラン、社会情勢等の変化に合わせて改訂する旨、説明した。 会長（岩岡） そのほか質疑を求めた。 委員（川崎） 東武野田線の高架化事業により駅が高架化され1年が経^たった。駅の変化に合わせて、都市計画マスタープランも変わらないのか質問した。 都市部長 連続立体交差事業は、現在事業中のため、事業が完了した後に修正する旨、説明した。 会長（岩岡） そのほか質疑を求めた。 委員（小俣） 学校の校庭にあるトイレの整備状況について質問した。 生涯学習部長 校庭のトイレは、ほとんどの学校にあるが老朽化や汲み取り式であり、においも強いという意見も頂いている。現在、校舎内のトイレを小学校から順次、洋式化を図っており、校庭のト
--	---

	イレはその後を考えている旨、説明した。 会長（岩岡） そのほか質疑を求めた。 委員（濱田） 都市計画マスタープランは20年間の計画であることから、人口の問題は大きいと思う。総合計画では2030年の人口を15万2千人としているが、今後の人口をどのように見込んでいるか質問した。 企画財政部長 総合計画は2030年を目標としており、2020年1月1日現在の推計は15万5,141人に対して、実際は15万4,373人で乖離^{かいり}はなかった。2030年の想定は15万2千人で、人口減少を見込まなければならないが、人口減少の進み具合は社会情勢などで変わってくる旨、説明した。 会長（岩岡） そのほか質疑を求めた。 委員（濱田） コンパクトシティを目指す上で、七光台駅の東側に市街化調整区域が広がっているが、今後の計画をどのように考えているか質問した。 都市計画課長 七光台駅の東側は、古い時代に土地区画整理事業によるまちづくりが計画されていたと聞いているが、平成3年に座生3地区と呼ばれる清水公園駅東、七光台駅西及び桜の里を市街化区域に編入し、土地区画整理事業によるまちづくりを行っている。 千葉県が令和7年に向けて動き出す区域区分の見直しにおいて、新たに住宅系を増やすようなフレームはないことから、七光台駅東側は、住宅系以外で何らかの土地利用を模索してまいりたい旨、説明した。 委員（濱田） 清水公園駅東側にも市街化調整区域が広がっているが、今後の計画をどのように考えているか質問した。 都市計画課長 清水公園駅東の区画整理を外れた吉春地域一帯については、人口減少の局面において市街化区域を拡大することは難しいため、既存の市街化区域を活性化していきたい旨、説明した。 委員（川崎） 七光台駅の東側の通学路の安全面に配慮してほしい
--	--

	旨、述べた。 会長（岩岡） そのほか質疑を求めた。 委員（遠藤） 我孫子関宿線のU S S付近の交通量が多いことに對し、優先的に改善してほしい旨、質問した。 土木部長 我孫子関宿線は県事業で道路拡幅を行っており、木間ヶ瀬小学校から木間ヶ瀬中学校の区間に歩道がないため、危険であると住民から要望がきている。用地買収がなかなか進まないことから、できる場所から優先して工事を進めるよう県に対して要望する旨、説明した。 会長（岩岡） そのほか質疑を求めた。 委員（櫻井） 障がいがある方などに対応したまちづくりについて3章の7の安心して暮らせるまちづくりに記載しているが、例えば、3章の9の健康スポーツには触れていない。どのような施策でも健常者が進めるため、障がいのある方の視点を忘れがちになるが、マスタープラン全体を含めた内容となっているか質問した。 福祉部長 全体を含めていくべきであるが、計画の中では3章の7に代表して記載している旨、説明した。 会長（岩岡） そのほか質疑を求めた。 委員（川崎） 利根川の堤防にサイクリングロードが整備されているが、福田地区には堤防がない場所もあり、整備できないか質問した。 土木部長 三ツ堀地区に自然の地形が堤防となっているが一部無堤防となっており、利根川上流河川事務所に対して要望を行い、整備案を提示いただいているが、排水などに課題がある整備内容のため、現実的な内容にしていけるよう進めている旨、説明した。 会長（岩岡） そのほか質疑を求めた。 委員（櫻井） 広域幹線道路について、野田市側の道路を4車線化するだけでは、埼玉県側の道路にある交差点の右折による影響は改善されないため、他県との調整はできているのか質問した。
--	--

	右折による渋滞で例えると、梅郷駅付近にある五差路でも右折による渋滞が起こっており、内カーブの右折で事故の危険もあるため、右折対策について質問した。 土木部長 浦和野田線について、埼玉県、千葉県と調整して計画を進めている旨、説明した。 梅郷駅の五差路の交差点改良は、家屋移転などにより、膨大な事業費を要し、すぐには整備できないため、できる限りの安全対策を実施する旨、説明した。 市長（鈴木） 浦和野田線について、埼玉県、浦和野田線沿線の自治体及び野田市で同盟会を設置し、国、千葉県及び埼玉県に対して、4車線化の要望をしている旨、説明した。 会長（岩岡） そのほか質疑を求めた。 委員（菊地） 面白いお店や面白い取組をする商店街が増えていく。市民が主体となる、まちを盛り上げる取組について、マスタープランに記載があるか質問した。 自然経済推進部長 野田市総合計画に、市民と協働したまちづくりについて記載しており、商店街の活性化に取り組んでいく旨、説明した。 会長（岩岡） そのほか質疑を求めた。 委員（河井） 旧関宿町の関宿地区は、食料品を扱う個人の商店が数店しかなく、生活が不便である。高速道路が近い関宿地区において、利便性の高まる開発を進めることができないか質問した。 都市部長 現在は、関宿工業団地を最優先で事業を進めていく旨、説明した。また、農業を継続していく方の状況も見ながら、都市計画を定めていく旨、説明した。 会長（岩岡） そのほか質疑を求めた。 委員（櫻井） 関宿地区においては、交通の便が悪く、まめバスの本数が少ない。交通網の強化がされないと、過疎化につながり、牛や農作物を育てる農地すら維持できなくなるため、交通網の強化となるようにインフラ整備を進めることはできないか質問した。
--	---

	企画財政部長 まめバスの運行計画は、令和6年の見直しに向けて、審議会を立ち上げ、審議を重ねている旨、説明した。 また、デマンド交通、企業の送迎バスやデイサービスの昼間のワゴンなどを活用した様々な取組を地域の特性に合ったものを持続できるように審議、検討している旨、説明した。 会長（岩岡） そのほか質疑を求めた。 <質疑の声無し> 会長（岩岡） 質問がないことを確認の上質疑を終了し、報告第2号野田市用途地域等の指定基準の策定について事務局に説明を求めた。 都市計画課長補佐 報告第2号野田市用途地域等の指定基準の策定について説明した。 会長（岩岡） 報告第2号について質疑に入り、発言を求めた。 委員（櫻井） 「良好な」という表現があるが、具体的な判断の基準があるか質問した。 都市部長 都市計画法の文言をそのまま使用しており、高さや騒音などの規制を行うために記載している旨、説明した。 委員（遠藤） 建蔽率30パーセントの地区は、建築に適さないため、なくしてほしい。 都市部長 およそ50年前に、区画整理を行うことを条件に市街化区域に編入した地区であることを説明した。 都市計画課長 昨年度、建蔽率30パーセントであった、花井堤根地区の暫定用途について、地区計画を策定することで解消しており、残りの山崎梅台地区についても、手続を進めていきたい旨説明した。 会長（岩岡） ほかに質疑を求めたが、質疑がなかったため、その他事務局から連絡事項はないか確認した。 都市計画課長補佐 今後の審議会のスケジュールについて周知した。 会長（岩岡） 質疑を求めた。 <質疑の声無し> 会長（岩岡） 閉会を宣言した。
--	---